

北陸新幹線飯山駅周辺整備事業

～平成27年春の開業に向けて～



※飯山駅のイメージ図

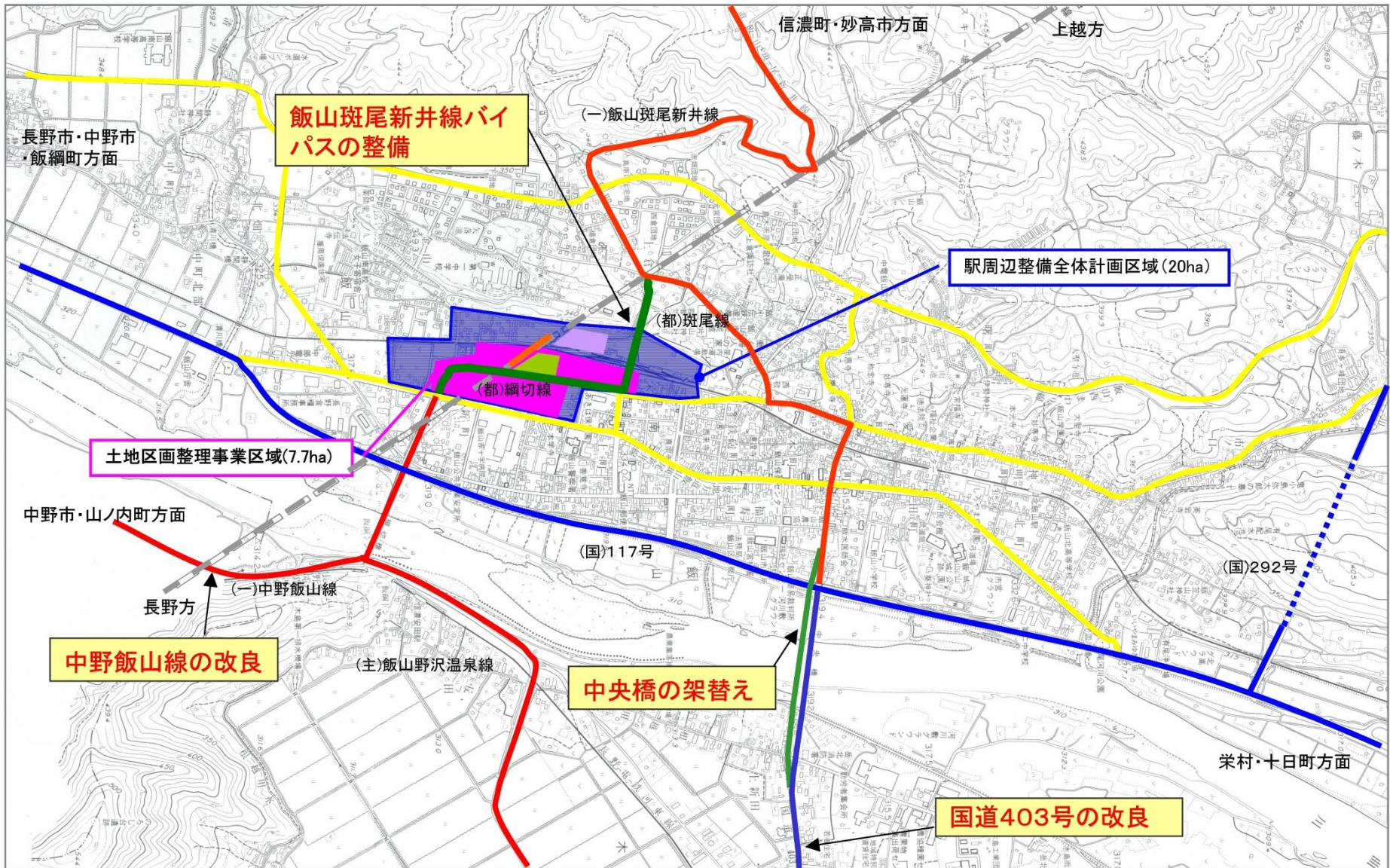
北陸新幹線飯山駅周辺整備事業

《主な4つの事業》

- 土地区画整理事業
- 駅西地区整備事業
- JR 飯山線飯山駅移設事業
- 駅舎合築都市施設整備事業



アクセス道路の整備強化



土地区画整理事業

- ・新たな交通結節拠点としての公共施設整備
- ・良好な住環境整備による宅地の利用増進

○事業の概要

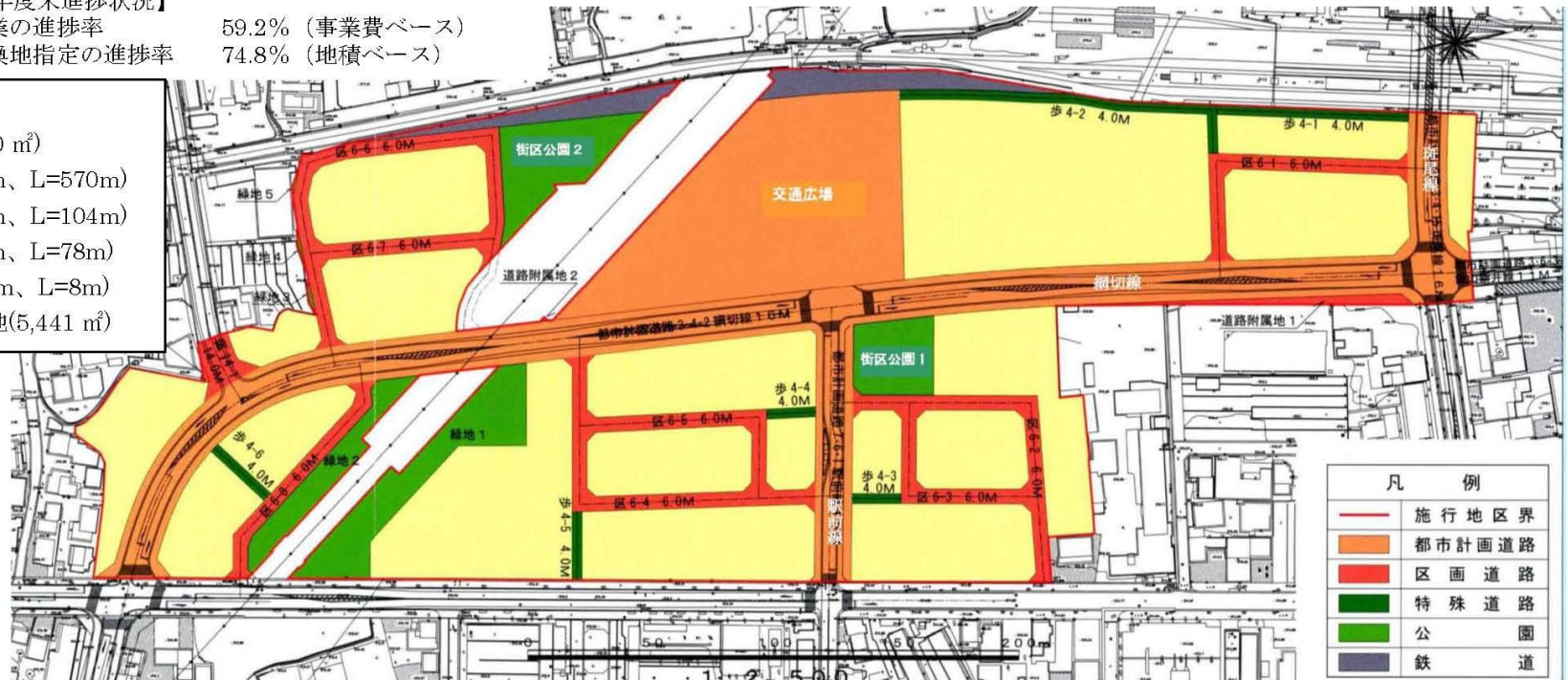
- 1 事業名称 飯山都市計画事業新幹線飯山駅周辺土地区画整理事業
- 2 施行者 飯山市（土地区画整理法第3条第4項）
- 3 施行地区 飯山市南町、大字飯山字新町裏、字蓮田、字立石、字土橋、
字外ノ浦の各一部
- 4 施行面積 7.7ヘクタール
- 5 施行期間 平成17年度～平成26年度
- 6 都市計画決定 平成17年3月31日
- 7 事業計画決定 平成18年4月3日（当初決定）
- 8 総事業費 約60億円
- 9 平均減歩率 約18%

【H23年度末進捗状況】

- ・事業の進捗率 59.2%（事業費ベース）
- ・仮換地指定の進捗率 74.8%（地積ベース）

<整備内容>

- ・東口広場(8,000 m²)
- ・網切線(W=16m、L=570m)
- ・駅前線(W=15m、L=104m)
- ・斑尾線(W=16m、L=78m)
- ・飯山新井線(11m、L=8m)
- ・街区公園・緑地(5,441 m²)



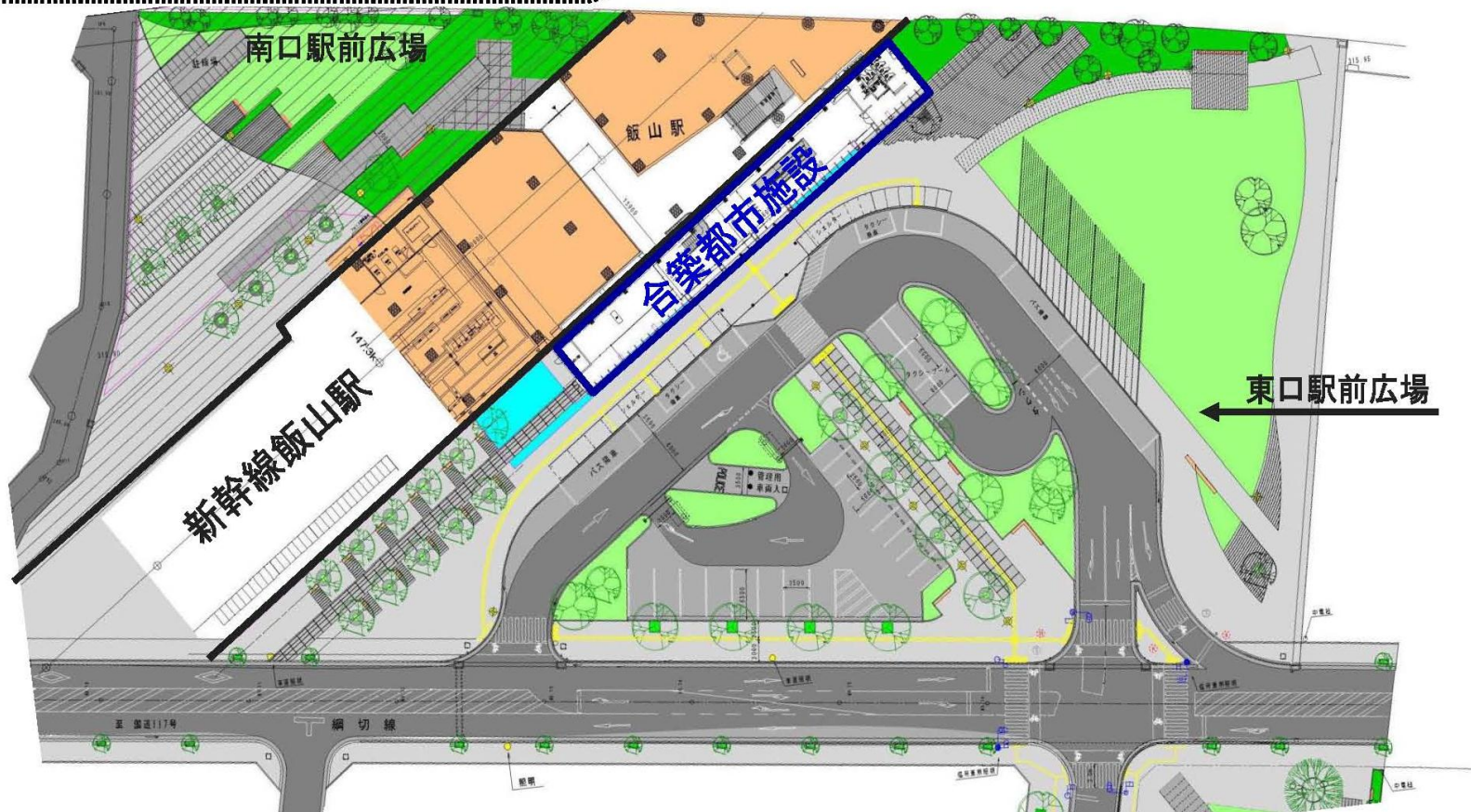
凡 例	
	施行地区界
	都市計画道路
	区画道路
	特殊道路
	公園
	鉄 道

東口駅前広場 平面計画図

- ・ 高速交通網の拠点、交通結節点機能を考慮した整備
- ・ 広域観光の玄関口

<主な整備内容>

駐車台数	・ 一般車	9 台
	・ マイクロバス	8 台
停車台数	・ タクシー	降車 1 台、乗車 2 台、待機 6 台
	・ バス	降車 1 台、乗車 2 台、臨時 5 台
	・ 身障者用	1 台



綱切線 歩道工事



駅西地区整備事業

- ・市街地西部方面からのK&R、P&Rの利便性確保
- ・効率的な駐車収容台数確保のため立体駐車場を整備



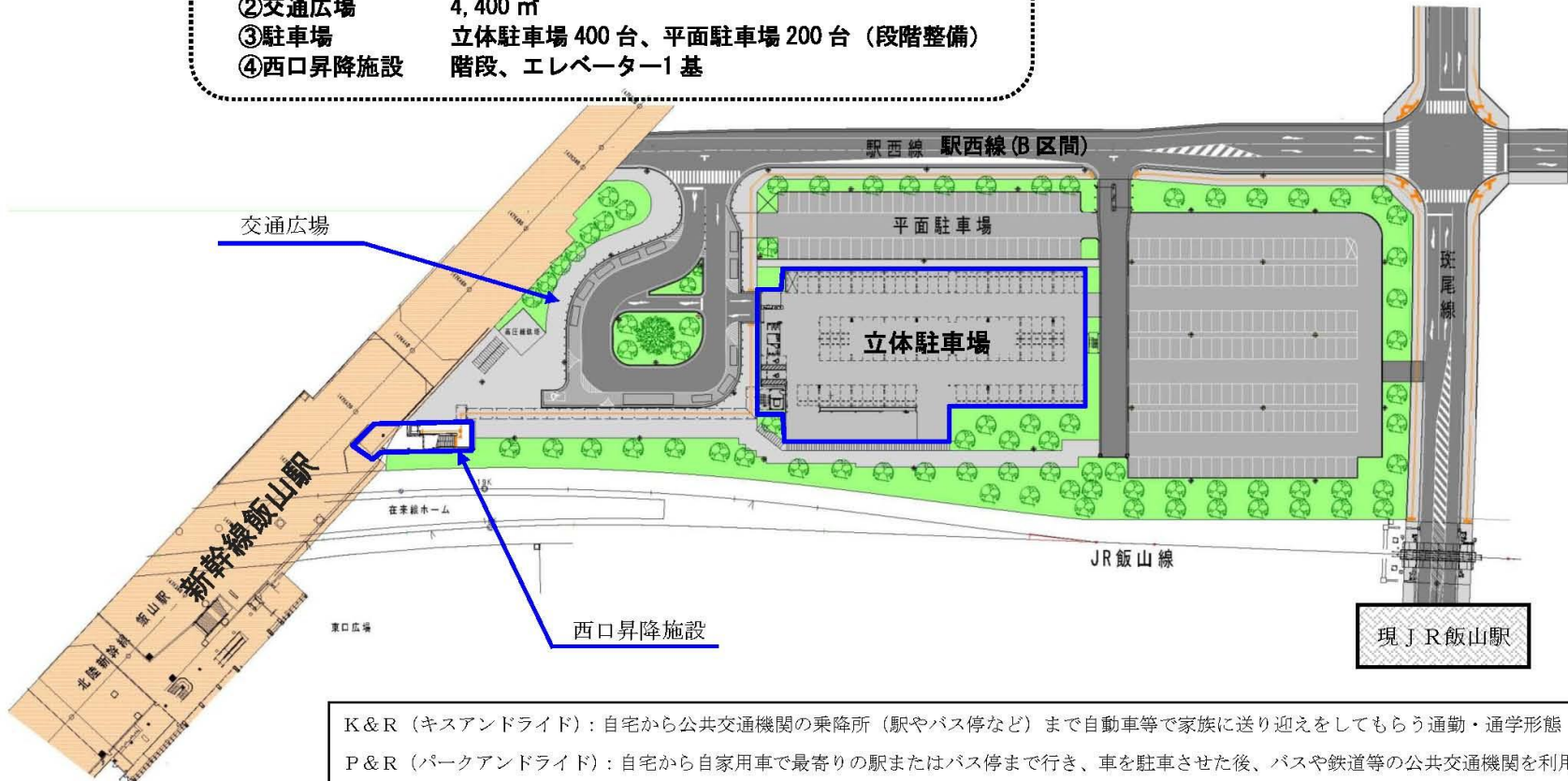
<整備期間> 平成22年度～平成28年度

<主な整備内容>

- | | |
|----------|--|
| ① 駅西線 | A 区間 (W=10m、L=300m)、B 区間 (W=12m、L=200m)
C 区間 (W=10m、L=200m) |
| ② 交通広場 | 4,400 ㎡ |
| ③ 駐車場 | 立体駐車場 400 台、平面駐車場 200 台 (段階整備) |
| ④ 西口昇降施設 | 階段、エレベーター1基 |



※西口昇降施設のイメージ



K&R (キスアンドライド) : 自宅から公共交通機関の乗降所 (駅やバス停など) まで自動車等で家族に送り迎えをしてもらう通勤・通学形態
 P&R (パークアンドライド) : 自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道等の公共交通機関を利用して
 都心部の目的地に向かうシステム

JR飯山線飯山駅移設事業

- ・新幹線駅舎が飯山線駅舎から300m南に建設される
- ・鉄道利用者の利便性向上、交通結節点機能の充実
- ・飯山線の存続、活性化

<整備期間> 平成24年度～平成27年度

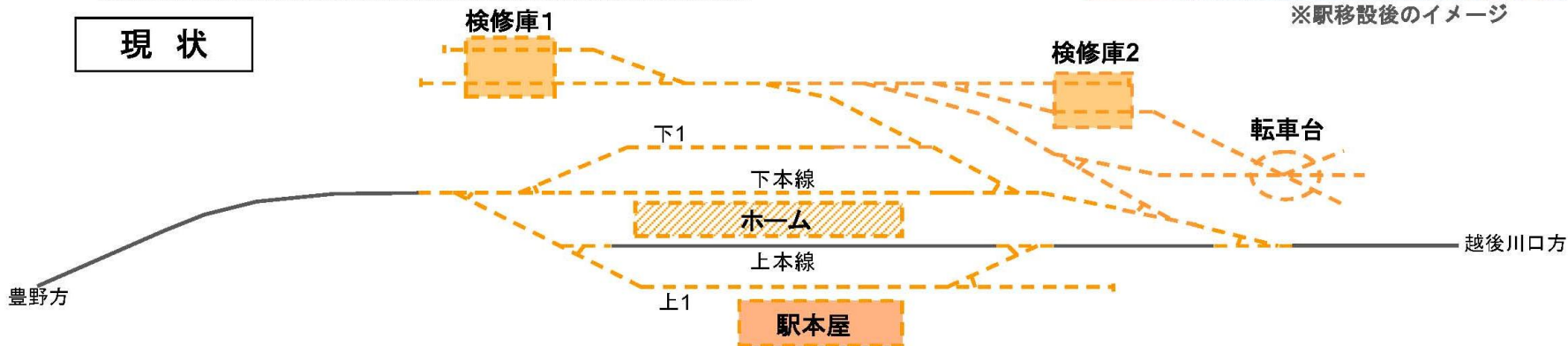
<主な整備内容>

- ①現駅機能を新幹線駅舎側へ移設
- ②保守基地を斑尾線北側に整理（1線跨ぎの踏切とする）

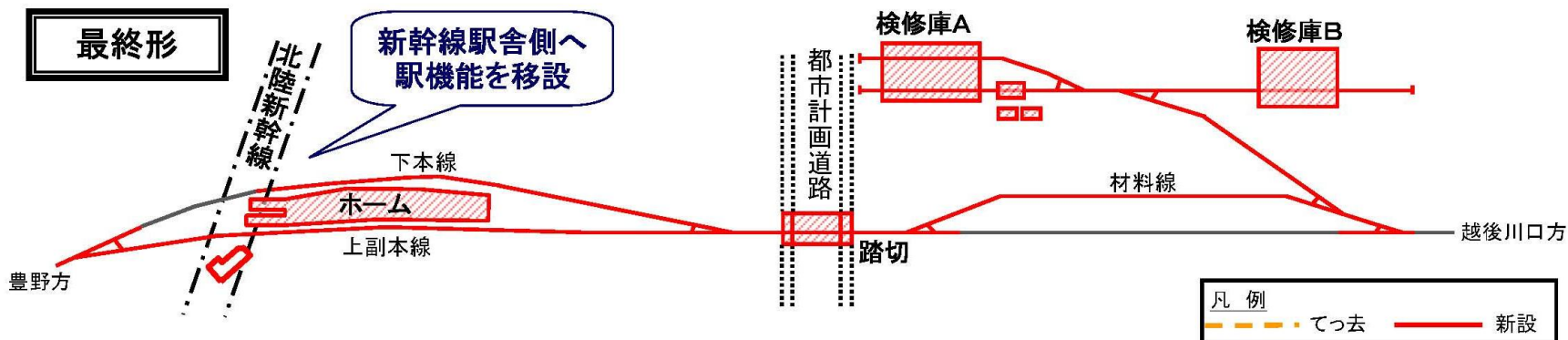


※駅移設後のイメージ

現状



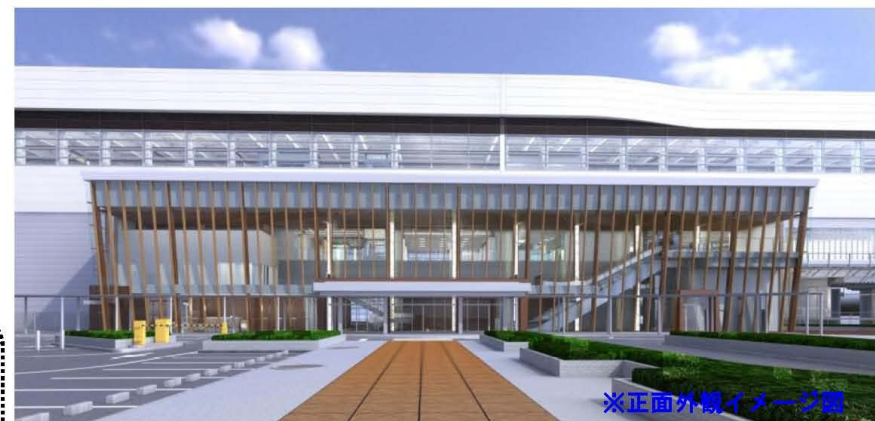
最終形



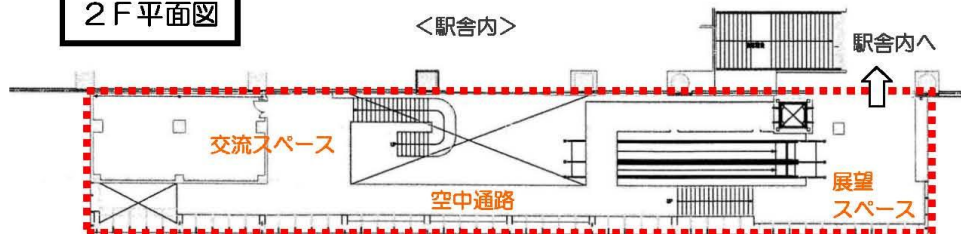
駅舎合築都市施設整備事業

- ・ 新幹線飯山駅機能の充実
エスカレーター、トイレ等整備
- ・ 広域観光ゲートウェイ機能強化
観光情報案内機能の設置

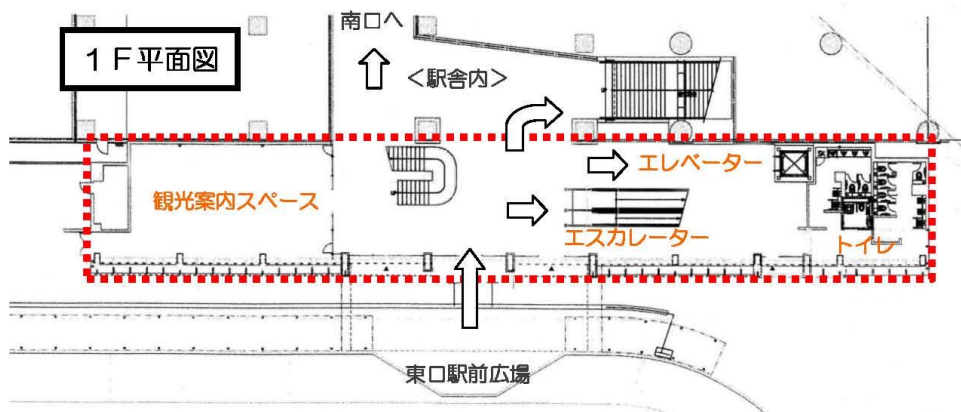
工事期間 平成24年度～平成25年度
建築面積 939㎡（長手方向60m）
施設構造 鉄骨造2階建、高さ14m
機能 観光情報案内、交流ホール、昇降施設（ESC）等



2F平面図



1F平面図



北陸新幹線 飯山駅 実施デザイン

デザインコンセプト（飯山市より）

「豊かな自然の懐に抱かれたやすらぎの駅」

デザインテーマ「雄大な大地と伝統美を感じさせる駅」～雪と伝統文化の融和～



※都市施設は飯山市で計画中のイメージです。

駅舎高さ 25m

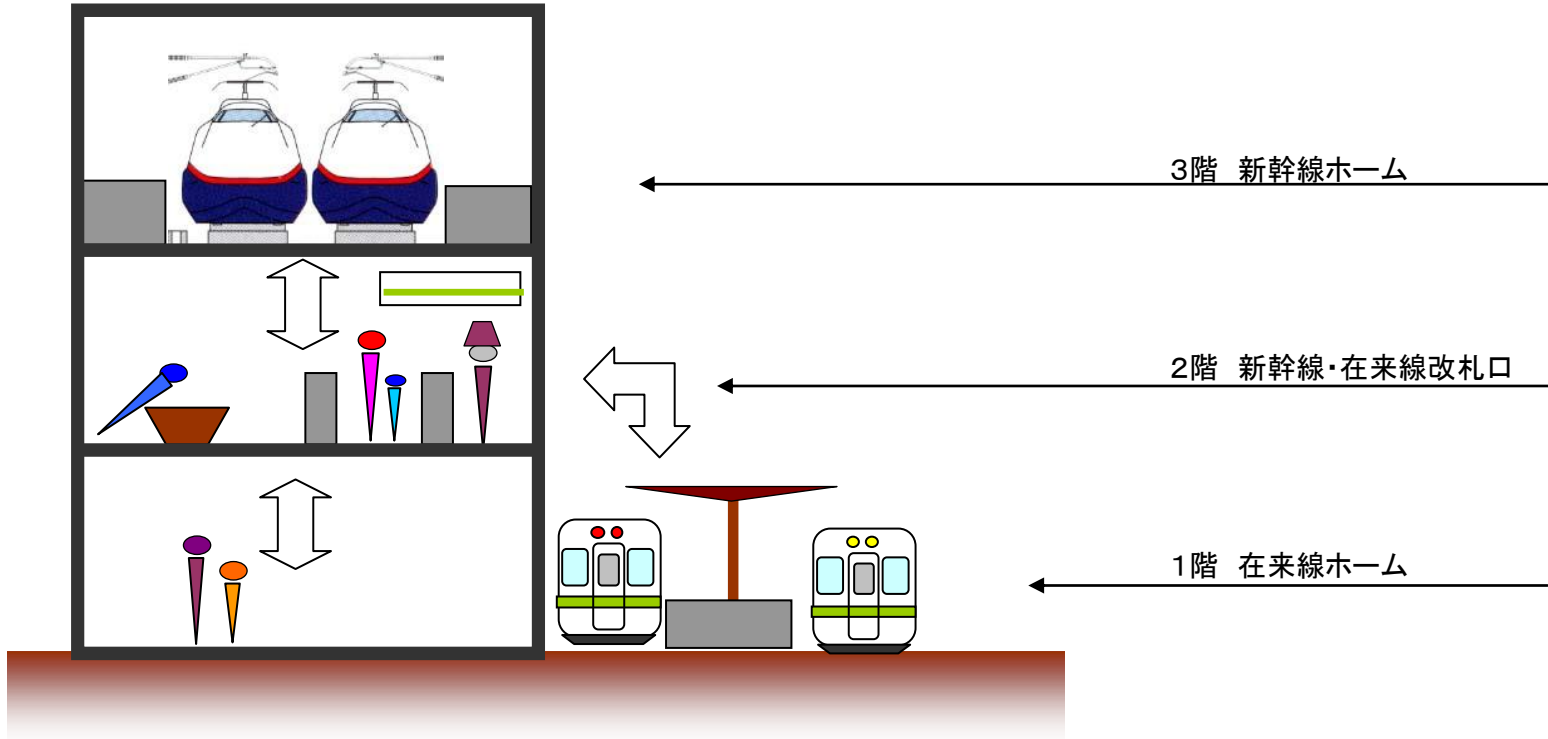
駅舎延長 120m

(プラットフォーム含む312m)

＜2階改札から各階への連絡設備＞

1階ホームへ：階段、EV

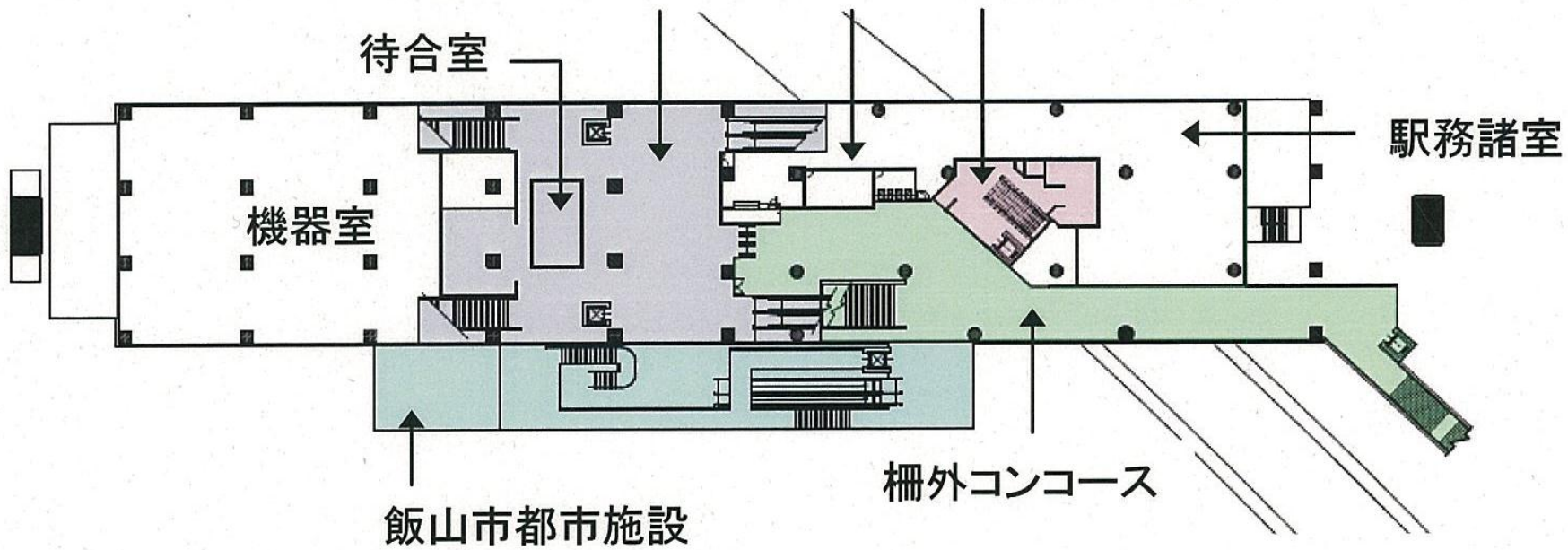
3階ホームへ：階段、EV、ESC



■想定される飯山駅の形態モデル■

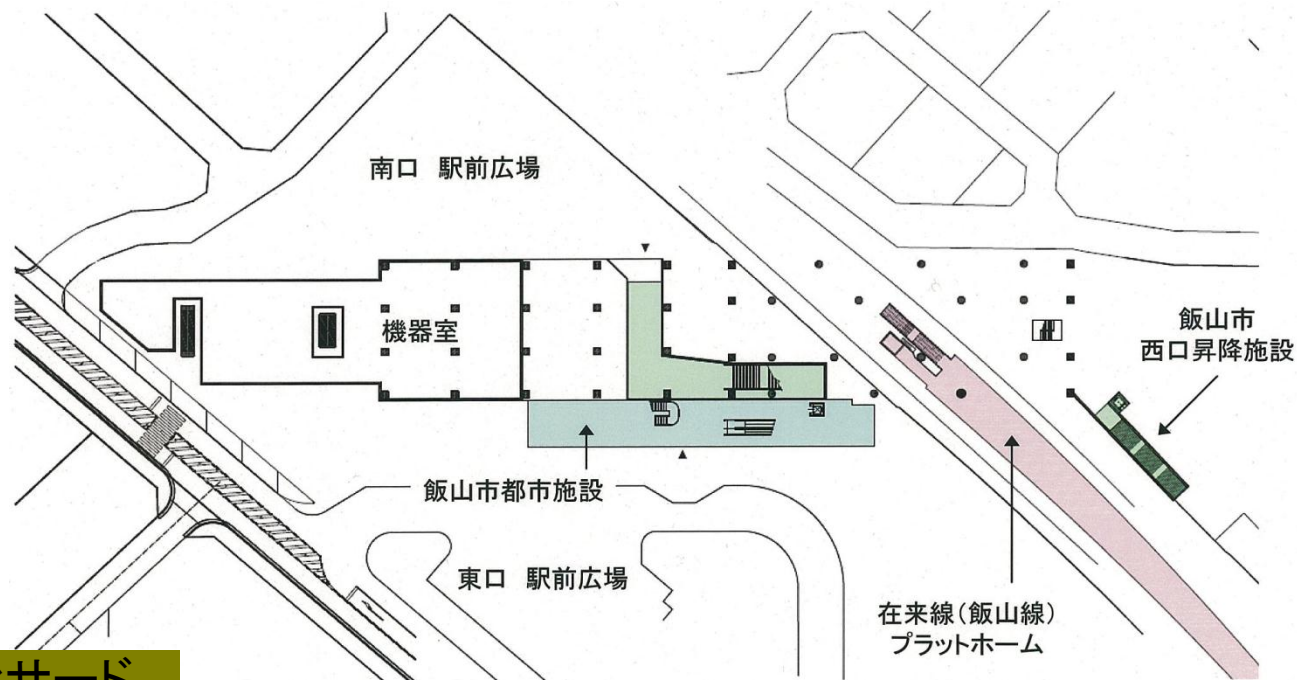
(新幹線に対しては高架下駅となり、飯山線に対しては橋上駅となる。)

注)この図はあくまでもイメージであり確定されたものではない。



飯山駅

Iiyama Station



北陸新幹線飯山駅 内観デザイン(コンコース)



待合室・光壁の柱が、
行灯のようなやさしい光で
コンコースに浮かび上がり、
訪れた人をやさしく迎え入れる



デザイン・ソース

■ 地場産材の活用

長野県産材を使った
待合室は、寒い雪国
における
ぬくもりの空間

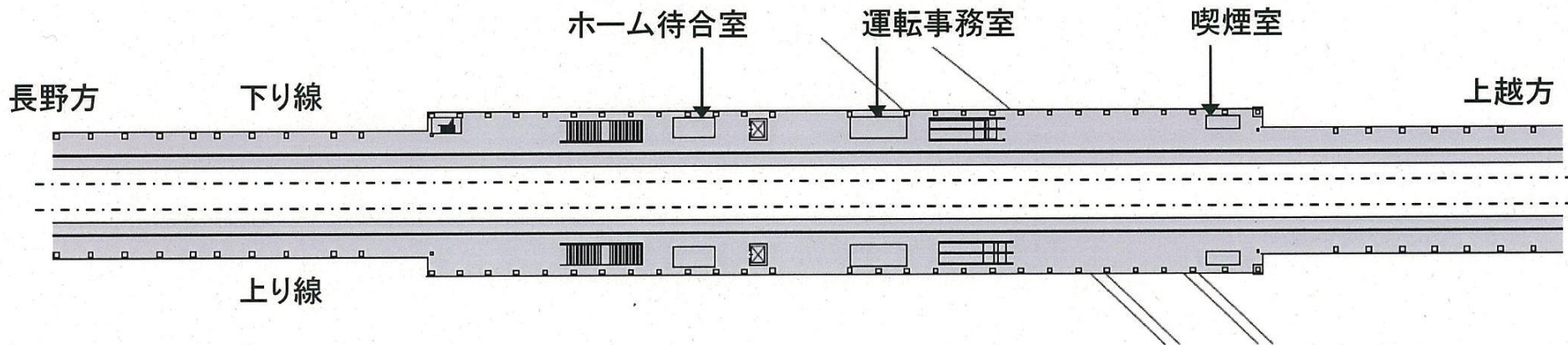


■ 郷土の温もり

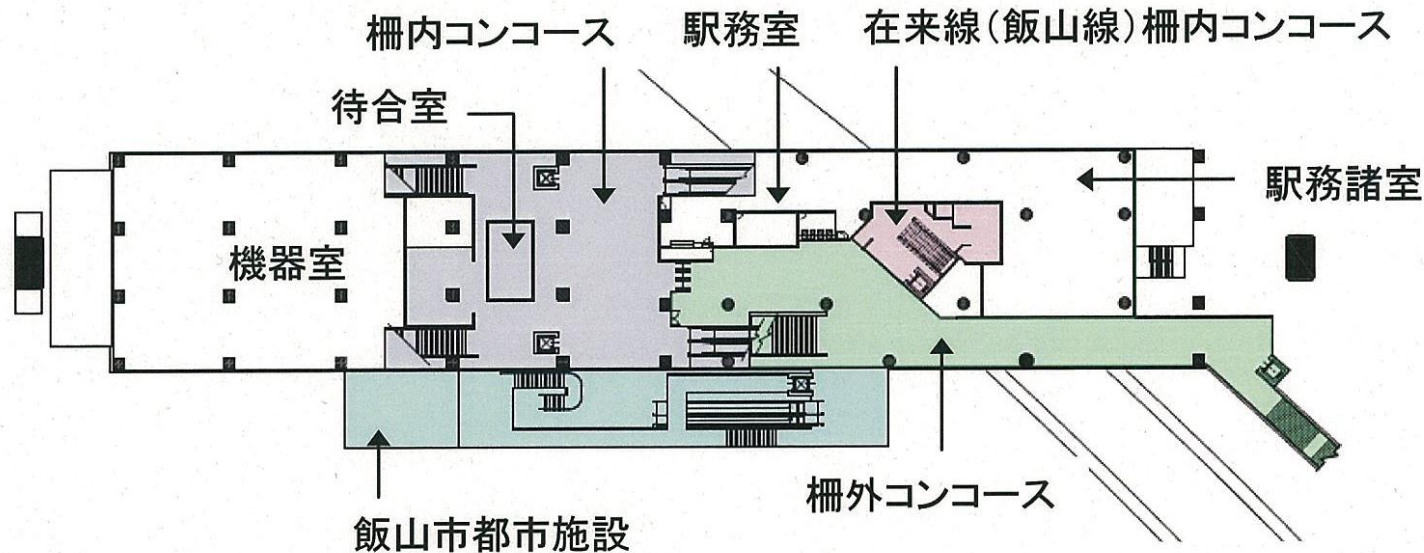
コンコースの光壁に和紙をはさ
み込んだガラスを使い、
そのガラスを通したやさしい光が
コンコース全体をやさしいなごみ
の空間として演出



3F PLAN プラットホーム



2F PLAN コンコース



飯山駅

Iiyama Station

北陸新幹線飯山駅 内観デザイン(ホーム)



デザイン・ソース

■ 風景との調和

白を基調とした上家デザインは、窓から見える飯山の雪景色に調和するデザイン



かまくら



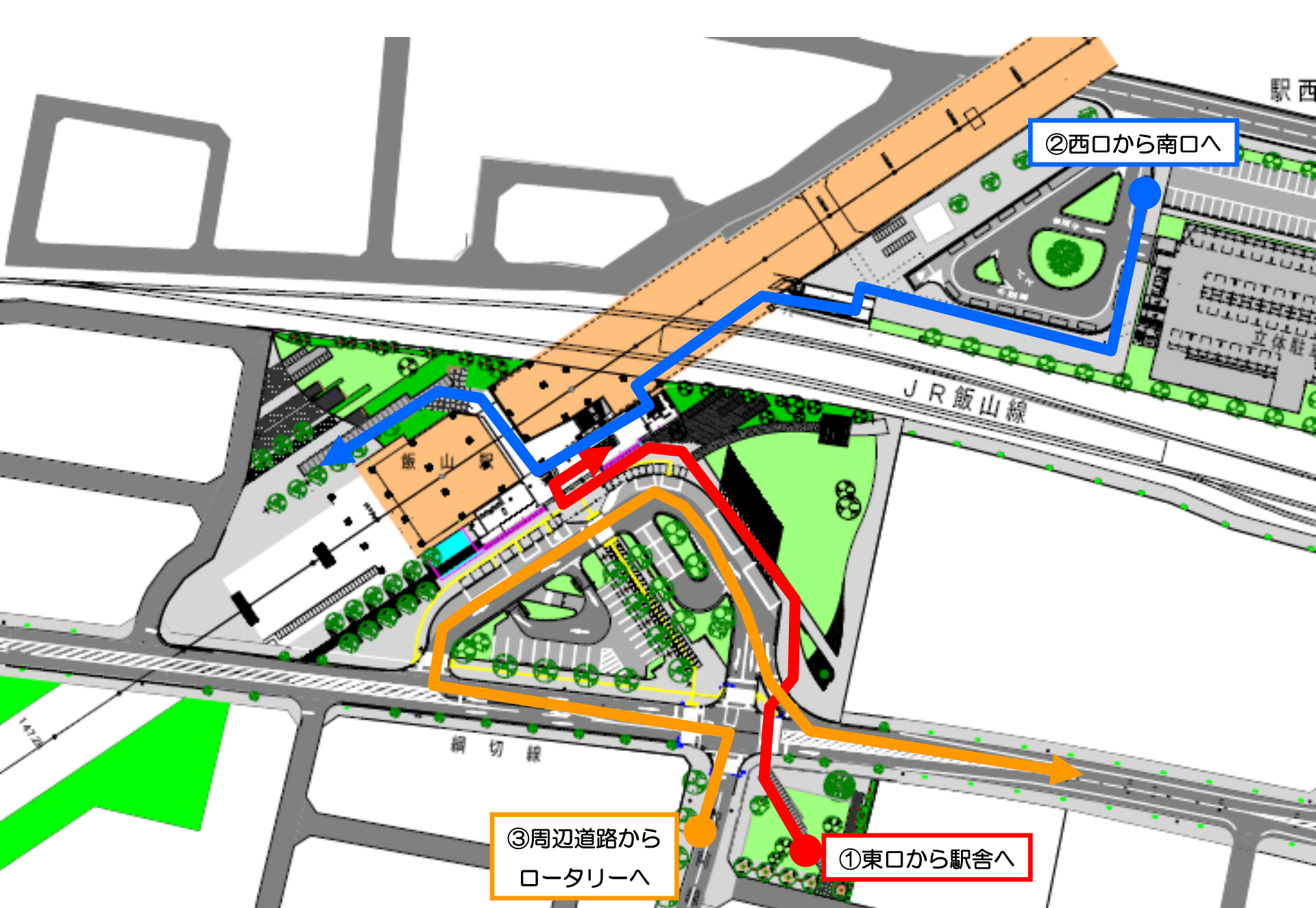
雪山

■ 郷土の魅力空間

白い雪の中のようなホーム空間に浮かぶ雁木をイメージした架構は、訪れた人が、飯山の郷土の風景を感じるデザイン



雁木



②西口から南口へ

③周辺道路から
ロータリーへ

①東口から駅舎へ